

令和6年 第11回教育委員会（会議録）

令和6年11月20日（水）

午前9時30分～

坂祝町中央公民館 会議室

日程第1 開会

※教育長が開会を宣言する。

出席委員確認

	教育委員	古田 博英
		兼松 悟
		原口 かおり
		安江 紫乃
	教育長	三品 芳則
教育委員会事務局	教育課長	堀部 芳章
	こども課長	岩井 正義
	教育課主幹	前田 加代子

日程第2 前回教育委員会の確認

※教育課長が資料に基づいて報告をする。

日程第3 教育長、教育委員報告事項

教育長 10月18日には郡地教連の根尾学園への研修視察、10月29日には
県市町村教育委員会連合会の高山市での研修会が行われました。他地域の
学校を見たり、他市町村の教育委員の方々と交流したりすることは刺
激になってよりよい機会だったと思いました。根尾学園は小規模校では
ありましたが、坂祝小の子どもたちと比較しながら見てまいりました。坂
祝の子どもたちがもっともっと表現力のある子どもたちになってほしい
など、そのあたりをもっと園・学校で頑張ってもらいたいと思って帰っ
てまいりました。

10月19日から27日まで国民文化祭さかほぎふるさと祭りが開催さ
れました。特に初日と最終日にあった、遺跡や古墳、寺社の瓦の歴史フォ
ーラムの講演会が大変勉強になりました。歴史的に価値があることが本
当に分かりまして、もっとPRしていかなければならないと思いました。

10月20日には、スポーツレクリエーションフェスティバルが開催され
ました。今回は、県の補助をもらっている関係で事務局の方でアンケート
をとりました。参加者総数479名、中には3世代で参加されたご家族も

あったようです。アンケートではほとんどの方が楽しかったという回答をしていただきました。全部で17の種目が出展されましたが、総勢190名ほどのスタッフが関わってくださいました。それぞれのスポーツ団体やスポ少の子どもたちといった関係の方々の協力のもと、盛大に大きな混乱なく行われました。当日は秋ということで、他の市町村とのイベント開催日と重なっていましたので、今後開催日程については検討の余地があるかなと思っております。

全国学力学習状況調査の結果と考察については、小中学校の分析がそれぞれ町教委の方へ提出されてまいりましたので、坂祝町としてのまとめを次回の教育委員会会議で見ていただく予定でいます。ざっくり簡単に申しますと、小6と中3ともに国語は全国・県平均と同等レベル、算数・数学については小6が全国・県平均を上回っていましたが、中3はやや下回っている状況でした。県教委の分析によると、小6国語は資料を活用するなどして工夫して意見を書く問題、算数では示された情報をもとに表から必要な数値を読み取って式に表す、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかを見る問題の正答率が低かったそうです。国語は中学校と比べ、小学校では情報の見つけ方や整理の仕方に差がみられる、そんなところをまた授業の中で対策が練られていくといいのかなと思いました。小中学校のそれぞれの学校の課題については、次回の教育委員会会議で詳しく報告される予定ですので、お待ちください。

10月19日には、月1回行っている外国籍の子どもたちへの支援「すまいるひろば」において、地域・園学校協働本部の多文化共生委員会と地域スポーツ委員会の方たちがコラボして、モルック、カーリングなどの軽スポーツを楽しむ機会を東館で開催してくれました。今朝の新聞記事にも掲載されておりましたが、普段の「すまいるひろば」に参加する子どもたちや保護者よりも多くの方が参加していただけて、盛況な会になったと喜んでおります。

古田教育委員 県の研究総会では、グループ別討議で非常に活発な意見が交流されました。4人のグループでしたが、その中の同朋大学社会福祉学科の先生の話が大変勉強になりました。大垣市の実践発表を聞いた後、グループ討議では不登校について話題になりました。その同朋大学の先生は、学校の先生は何でも引き受け過ぎていて、不登校の問題は社会福祉や医療の分野が提携して取り組むべきで、全部を学校が請け負ってはいけないとお話されました。一方で、校長先生をやってみえた先生は、いつ頃からか行きたくなければ学校は行かなくてよいという風潮が広がり始めて、全部を否定しているわけではないですが、すべてそれに乗っかってしまう流れで

はなく、深刻な不登校の状況になる前に対応すれば、一定数は解決できるというご意見でした。お二方の意見は対局するものではありませんでしたが、どちらもそうだなと感じながら聞いていました。不登校はパターンが千差万別で、対応が非常に難しいということですが、大垣市は不登校対策の施設を作り、スタッフも20名人近く置かれて、かなりの手厚い対応をされてみえるようです。でも、不登校は目に見えて減っていくというわけではないようで、非常に難しい問題だなと思いました。坂祝町も中学校で11名ほどの不登校のお子さんがみえるということで、大垣市と同じような対応を計画してやってみえると思いましたが、できれば社会福祉や医療の分野をコーディネートできるような方が安定してみえたら、不登校の対応もうまくいくのかなと思いました。

兼松教育委員 古田委員さんのお話を受けてですが、児童生徒の教育に関して学校は前がかりになっている現状があるので、それは分けていかなければいけないと思いました。コミュニティ・スクールは、学校の価値観ではない違う価値観で、参加型の活動を中心に子どもを見守り育てていくという視点があります。先ほど教育長さんが話されました多文化共生委員会の方が取り組まれた新聞記事を見ましたが、それも大事な取組で、一つの対応する窓口になると思いました。

先日16時頃に小学校へ行くと、児童が下校していました。3時15分に子どもの声の下校放送が町内に流れるのになぜだろうと思いました。先生に話を聞くと、4年生以下は15時に下校し、5、6年生は16時頃下校するということでした。家の前を子どもたちが通らないので、全然知らず、そういう仕組みになっていると初めて知りました。

ある知り合いが、「古民家再生物語」という講演があると紹介してくれました。古民家の美と文化についての話だそうです。坂祝にも古民家がありますが、この先空き家が増えてくると思いますので、役場の職員の方は興味があるかなと思ってお話をもってきました。

安江教育委員 小学校2年生の研究授業に参加させていただきました。先生が事前に綿密な指導案を作成されていて、ねらいをもって臨まれてみえました。子どもたちの発言や考え方から自分たちで工夫して課題を解き、そこから導き出した答えをクラスの中で発表し、さらに学びを深めていく、それを互いに共有し合って認め合うという、そこまでの一連の流れがとても丁寧に組み込まれていて、子どもたちが自ら学ぶ姿勢で臨んでいた様子がすごく印象的でした。クラス全体が生き生きとしていて、子どもたちのいろいろな姿を先生たちも子どもたちも受け入れながら授業に臨んでいる姿を見せていただいて、とてもいい機会だったなと思いました。

教育長 先ほど古田委員さんが言われた不登校対策に関わっては、坂祝町では県の補助をいただきながら、校内支援センターというものを坂祝中学校に設置しています。そこに常駐している支援員の方の給料を県から補助をいただいております。そこでただ単に子どもたちの心を癒すだけではなく、勉強したいという思いがあれば学習支援もしながら、いろんな場所での学びの場を保障していこうと県教委も動きをとっています。そんな補助金も活用しながら中学校でやらせていただいています。小学校はそこまで不登校児童が多いわけではありませので、残念ながら小学校にはないのですが、中学校は不登校生徒が多く、進学・進路といったこともありますので対応させてもらっています。また総合教育会議や教育委員会会議などの中で、分からないところがあれば事務局から説明させていただきますので、いろいろ聞いていただければと思います。

日程第４ 議事

（付議事件）

議案第３６号 令和６年度一般会計補正予算（第７号）について

※教育課長が資料に基づいて報告をする。

教育長 議案第３６号について、承認することに異議はありませんでしょうか。

教育委員 異議なし。

教育長 異議なしと認めます。

議案第３７号 坂祝町小学校及び中学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

※教育課長が資料に基づいて報告をする。

教育長 議案第３７号について、承認することに異議はありませんでしょうか。

教育委員 異議なし。

教育長 異議なしと認めます。

議案第３８号 坂祝町社会体育施設条例の一部を改正する条例について

※教育課長が資料に基づいて報告をする。

教育長 議案第３８号について、承認することに異議はありませんでしょうか。

教育委員 異議なし。

教育長 異議なしと認めます。

（報告事件）

報告第３８号 坂祝町教育委員会後援名義の使用許可について

※教育課長が資料に基づいて報告をする。

報告第３９号 坂祝町教育委員会後援名義の使用許可について

※教育課長が資料に基づいて報告をする。

報告第40号 坂祝町教育委員会後援名義使用許可事業の終了報告について
※教育課長が資料に基づいて報告をする。

日程第5 その他

当面する教育関係諸行事について
その他

日程第6 閉会

※教育長が閉会を宣言する。

閉会 午前10時30分